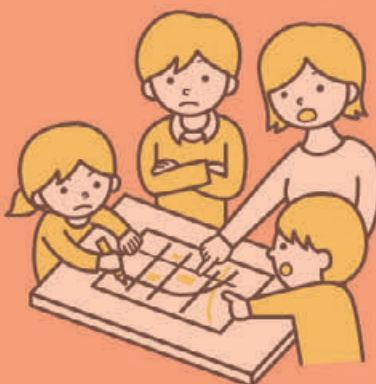
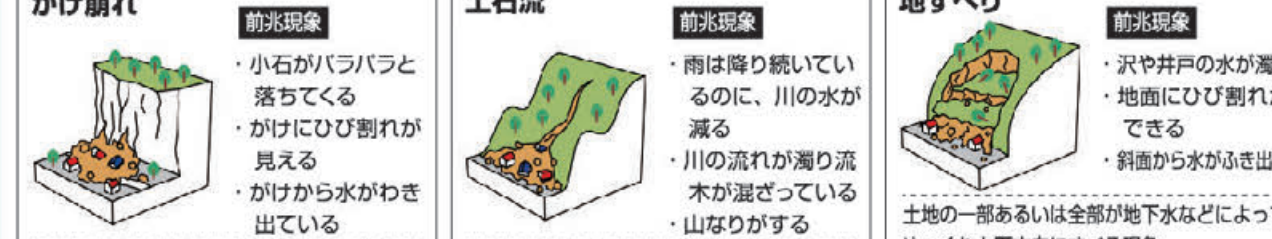


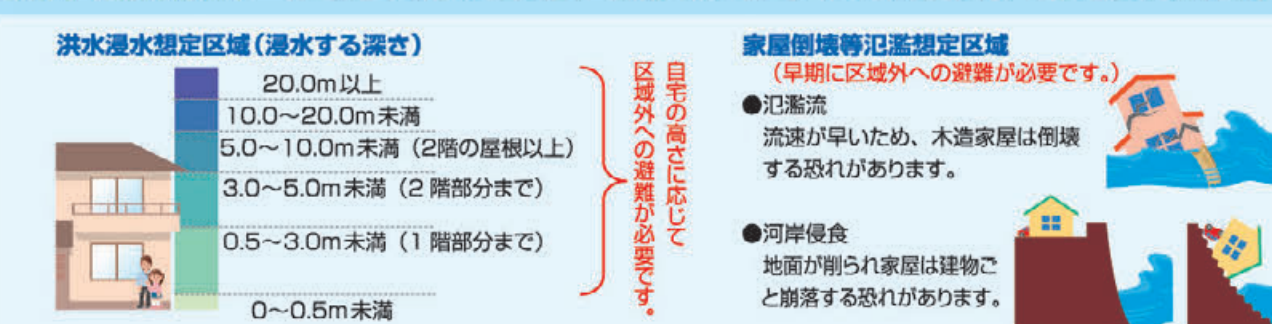


北荣小学校区版

●土砂災害(特別)警戒区域…土砂災害により被害のおそれのある箇所の地形や土地利用状況などの基礎調査を
基に県が指定した区域を表示しています。



●**水害（外水氾濫）**…川の水が堤防を乗り越えたり、堤防が壊れて街の中にながれこんだりすることで起きる浸水被害



警戒レベル	避難情報	市民のみなさんごとの行動	気象情報	水位情報	河川の水位
5	緊急安全確保	命の危険、ただちに安全確保！	大雨特別警報	氾濫発生情報	氾濫発生
4	避難指示	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	氾濫危険水位 いつの確りとも起らない危険な状況
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	警報	氾濫警戒情報	避難判断水位 一定時間以上、氾濫の危険がある状況
2	自らの避難行動を確認	自らの避難行動を確認	注意情報	氾濫警戒水位	警戒水位 水の上がりを見とめる状況
1	災害の心構えを高める	災害の心構えを高める	早期注意情報	水防団待機水位	水防団が水防活動の準備を始める目安 平常時の水位

情報を収集しよう

災害に関する情報は、テレビ・ラジオ・広報車の他に以下の方法で伝達を行います。

多治見市からの情報	国や岐阜県からの情報	
多治見市公式アカウント	市から市民の生活を支える情報をLINEにてお知らせします。	気象庁 HP 気象情報、キックル https://www.jma.go.jp/bosai
多治見市防災アプリ	スマートフォン向けの防災アプリです。	岐阜県総合防災ポータル 避難情報、避難所開設状況 https://gifu-bosai.miyu.salesforce-sites.com
多治見市緊急メール	インストールはQRコードから	岐阜県川の防災情報 河川の水位、カメラ画像 https://www.kasen.pref.gifu.jp
テレホンガイド防災無線	防災行政無線で放送する気象情報、避難情報等をメールにてお知らせします。 登録はQRコードから	きふ土砂災害警戒情報ポータル 土砂災害警戒度、雨量情報 https://aiert.soumu.pref.gifu.jp/gj
FM PIPi	災害時に災害対策本部からの防災情報をお伝えします。	
おびチャンネル	地デジ12chに合わせて、リモコンのdボタンを押すと防災チャンネルを視聴できます。	フリーダイヤル 0120-311714 周波数：76.3MHz

避難について考えよう

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。
災害の危険性が高まった時に、自分や家族の命を守るよう、事前に自宅や周辺の危険箇所ととるべき行動を確認しておきましょう。

市が指定した避難所へのいどき避難
市が指定した避難所へ避難することを知っておきましょう。

安全な避難・知人宅へのいどき避難
避難が困難な状況に陥ることを回避しておきましょう。

安全なホテル・旅館へのいどき避難
避難は宿泊料が必要です。事前に予約しましょう。

屋内安全確保
ハザードマップなどで「**13の危険**」を確認し自宅にいても大丈夫を確認することが必要です。

わが家の避難情報を整理しよう

1. 避難マップを作成しよう

次の手順にしたがって、自分の避難先（安全な場所）と避難経路をきめ、自分だけの「避難マップ」を作成しよう。

1 自宅が安全が確認しましょう。

- ・自宅に「〇」をつけましょう。
- ・地図の着色を見て、土砂災害や水害がどの程度危険が確認しましょう。

2 自分や家族を守るのに必要となる避難先をきめましょう。
・自宅で安全が確保できない場合、土砂災害や水害の危険が無い、もしくは危険が少ない避難先を選び「○」をつけましょう。

3 一緒に避難する方の自宅を確認しましょう。
・声を掛ける方や高齢者、身体の不自由な方など、一緒に避難する方がいる方の自宅に「△」をつけましょう。

4 安全な避難経路を確認しましょう。
・自宅から、一緒に避難する必要がある方へ
まで行く道順を「→」で記入しましょう

● 次のような危険箇所がないかチェックして、安全なルートを見つけておきましょう。歩いて確認しておくとう効果的です。

☐ 冠水しやすい道路 ☐ 高齢者らが避難しづらい坂道や階段 ☐ 嵐の多い河溝 ☐ 土砂崩れが起きそうな場所 ☐ 川の近くのルート ☐ 倒れそうなブロック塀や建ち

● どうしても避難経路が危険箇所を通ることになってしまう時は、身動ぎがとれなくなる前に、早め早めの避難を心がけましょう。

わが家の避難先	徒歩で  分 車で  分
一緒に避難する人	連絡先

2. 何を持って避難する？

避難生活に必要なものを記入します。大きさ、重さなど、自分で本当に持てるかを事前に確認します。
避難の際に両手が使えよう、リュックなど背負えるものに準備しましょう。

家で備えておくもの

- ☒ **飲料水**
1日1人3リットルを目安
- ☒ **食料品**
レトルト食品、アルファ化米、缶詰、インスタントラーメン、お菓子、パスタなど消費食品
- ☒ **衛生用品**
ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、食器洗、マスク、洗濯用品、洗剤など1日、毎週、毎月購入するもの
- ☒ **生活用品**
ウェットティッシュ、カセットトイレ、ガスボンベ、乾電池(ボタン電池、単三電池、単四電池、手回し、3号乾電池)

非常用持ち出し品

- ☒ **飲料水**
非常食食
- ☒ **食料品**
カップ麺、缶詰など
- ☒ **貴重品**
現金(小額を複数に)、預金通帳、印鑑、保証書、免許証のコピー
- ☒ **衛生用品**
食器洗、マスク、ウェットティッシュ、乾電池、下着、日用品など
- ☒ **生活用品**
ウェットティッシュ、ラジオ、タオル、乾電池、乾洗機、懐中電灯、ラジオ、ヘルメット、非常食、非常用トイレ、カセットトイレ、簡易トイレなど

3. 避難するときは

避難の心得

- ① 避難は早めに行う。
- ② 火元を確かめ、ガスの元栓を閉め、ブレーカーを切る。
- ③ 荷物は最小限に。
- ④ 外出中の家族には連絡メモを。
- ⑤ 避難は基本的に徒歩で。
- ⑥ お年寄りや子どもの手はしっかり握って。
- ⑦ ご近所さんに声をかけよう。
- ⑧ 避難時は、狭い道、地下歩道、塀ぎわ、川べりなどは避ける。

避難するときの服装

非常持出品はリュックサックで

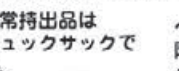
ヘルメットや防災ずきんで頭を保護

化繊より木綿製品を着用

軍手を着用

長袖、長ズボンで

足は厚手の履き慣れたもの



4. 避難のタイミング（マイタイムライン）

基本は、早いめの避難です。避難にはさまざまなパターンがあり、外に出るより自宅にいる方が安全な場合もあります。いつ避難を開始し、いつまでに完了するか、どこから情報を得るか等家族で決めて必要な内容を書き込もう。

気象情報	注意報	警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
水位情報	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
避難情報		レベル3（高齢者がかまふ人は避難）	レベル4（全員避難）	レベル5
		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
このまちの防災	 日中の避難 （※）気象庁から避難の要請がある場合は、避難の準備を始める	（例）避難準備を始める （例）避難開始 （例）避難完了	（例）避難完了	レベル5になる前に避難を完了しよう
	 夜間の避難	（例）避難準備を始める （例）避難開始 （例）避難完了	（例）避難完了	

北 栄
小学校区

L2
浸水想定
最大規模

